

エチゴハガタヨトウ *Asidemia inexpecta* (Sugi)

【選定理由】

全国的に記録は少なく、限られた特異環境に生息する。県内の生息地は1ヶ所のみである。

【形態】

開張 38mm～41mm。前翅は黒褐色または茶褐色で明瞭な腎状紋を有する。後翅は褐色。

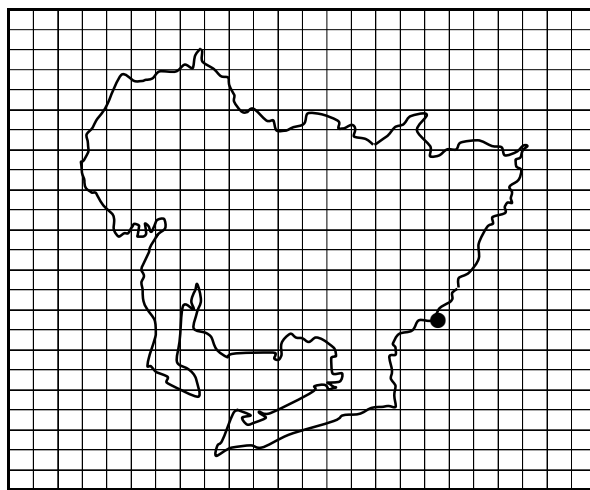


岐阜県山県市伊往戸, 1988年6月18日, 間野隆裕 採集

【分布の概要】

本州、佐渡島、四国、奄岐島、九州に分布するが、いずれも局所的で石灰岩・蛇紋岩地帯に限定されている。県内では、新城市鳳来黄柳野のツゲ自生地から記録されているだけである。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

成虫は年2回の発生で、5～6月、8～10月に出現する。卵で越冬する。幼虫は黄緑色の体色で、ツゲを摂食する。老熟すると、土中へ潜って蛹化する。第1化幼虫は同じくツゲを食するイセキリガ幼虫とほぼ同時期に見られるが、黄柳野では本種幼虫の方が多く見られるという(中村・船越, 1990)。

【現在の生息状況／減少の要因】

県内の生息地は、新城市鳳来黄柳野のツゲ自生地(国指定天然記念物)1ヶ所のみ。生息場所は狭く、限定的で、存続に不安がある。

【保全上の留意点】

ツゲ自生地とその周辺環境の保全を必要とする。

【特記事項】

福岡県では準絶滅危惧種にランクされている。

【引用文献】

中村正直・船越進太郎, 1990. イセキリガの幼生期：ツゲを食する6番目の蛾の発見. 蛾類通信, (160): 162-168.

【関連文献】

大和田守・山本光人, 1983. “岩場の蛾”に関する新知見. 蛾類通信, (122): 345-352.

間野隆裕・宮崎弘規, 1988. 愛知県鳳来町で採集した蛾. 誘蛾燈, (111): 23-29.

杉 繁郎(編), 1987. 日本産蛾類生態図鑑: 207, pl.100. 講談社, 東京.

(間野隆裕)